

いきものみっけ隊通信



「森の小さな妖精『ヒメボタル』を見つけよう！」

「森のがっこう いきものみっけ隊」第2回目の活動報告です。今回は森に住んでいる米粒程度の小さな小さな「ヒメボタル」を見つけることがテーマです。ホタルの一般的なイメージは森ではなく川、そして時期は梅雨頃なのですが、果たしてホタルを見つけることができたのでしょうか。それでは活動報告スタートです。



今回はホタルの観察がテーマということで、お昼に集合しました。みんなが集まったら早速生き物探しの出発です。活動日前日に沢山の雨が降ったおかげでそれを喜びシュレーゲルアオガエルが沢山鳴いています。そして水が溜まった側溝には昨日の晩に産んだと思われるシュレーゲルアオガエルの卵塊が見つかりました。次回の活動ではオタマジャクシが見つけれそうです。午後はグループで思い思いの場所へ行き生き物を探し、それぞれに見つけたものを発表しました。



発表後はアウトドアクッキングに挑戦です。今回のメニューは竹筒で炊く炊き込みご飯と具沢山うどんです。大きな竹筒にお米と炊き込みご飯の素を入れて薪で炊き上げます。大鍋に山盛りの具沢山うどんも完成、みんなでおいしくいただきました。



夕食後は研修室に集合し、ホタルクイズに挑戦しました。ホタルは会話をするために光ることや、卵や幼虫、さなぎも光ることがあること、ヒメボタルのメスは空を飛ぶことができないことなど、ホタルの生態を楽しく学びました。

クイズが終わったらお待ちかねのホタル探しに出発です。まずは一番ホタルがいそうだとみんなが答えた森の奥の小川へ行くことにしました。懐中電灯を全て消してじーっと川の近くをみていると…、「あそこ光ってるー！」と歓声が。なんとホタルの幼虫が発光しているのが見つかり、みんなで観察することができました。しかし、ヒメボタルはいません。という訳で次のポイントである駐車場近くの草むらへ移動しました。草むらをじーっと観察していると「あ！光ってる！」、黄色いフラッシュのような光を放つ小さなヒメボタルを見つけることができました。よく見てみると色んなところで光っています。気付かなかったのが嘘のように沢山のヒメボタルを見つけることができました。そうして今回の活動はおしまい。生き物の不思議にふれた活動となりました。(記・宮嶋)



スタッフのつぶやき

「コロロ、コロロ…」、今年もアクトランドの第1サイトでは、シュレーゲルアオガエルが盛んに鳴いています。子ども達はその鳴き声を頼りにカエルを探したり、水たまりの周りに産み付けられている卵囊に触れたりして夢中になっていました。

カエルは古来より春を告げる生き物とされています。今回、カエルとの触れ合いを経験したことで、来年カエルの鳴き声を聞いたり卵囊を見れば、また春が来たのだと季節を感じられるようになってくれたら良いなと感じました。(記・多田)

★今回の活動で見つけたいきもの

シュレーゲルアオガエル、シュレーゲルアオガエルの卵囊、ヌマガエル、サワガニ、カワセミ、アオスジアゲハ、アゲハチョウ、ベニシジミ、キョウチクトウスズメ、シオカラトンボのヤゴ、オカダンゴムシ、ヒメボタル など

